

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-015878

(43)Date of publication of application : 22.01.1999

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

(21)Application number : 09-183215

(71)Applicant : D BUREIN:KK

(22)Date of filing : 25.06.1997

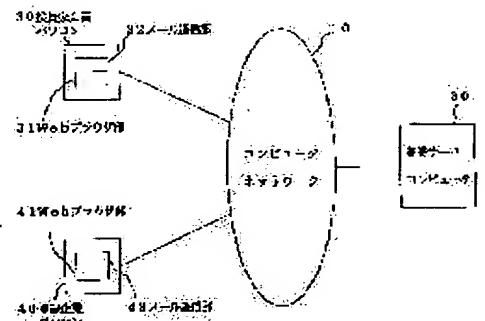
(72)Inventor : IDENAWA YOSHITO

## (54) INVESTMENT MART SYSTEM

### (57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a system for transacting nonpublicly held stocks by using an interconnection network (Internet).

SOLUTION: A securities server computer 20 is connected to a computer network 10 and an investor member personal computers(PCs) 30 and registered enterprise PSs 40 are allowed to be connected to the computer 20. A membership home page is formed in the computer 20 and each member investor can read the enterprise information and financial information of registered enterprises and inspection information inspected by a third person. Each member investor can transmit an open inquiry to each registered enterprise through an electronic mail and read an answer to the inquiry on the home page.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 09.03.2000

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 27.09.2002

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(51)Int.Cl.<sup>6</sup>

G 06 F 17/60

識別記号

F I

G 06 F 15/21

Q

## 審査請求 未請求 請求項の数5 FD (全21頁)

(21)出願番号 特願平9-183215

(71)出願人 597097216

(22)出願日 平成9年(1997)6月25日

株式会社ディー・ブレイン  
東京都町田市原町田2丁目8番1号 町田  
KKビル

(72)発明者 出縄 良人

東京都町田市原町田2丁目8番1号 町田  
KKビル 株式会社ディー・ブレイン内

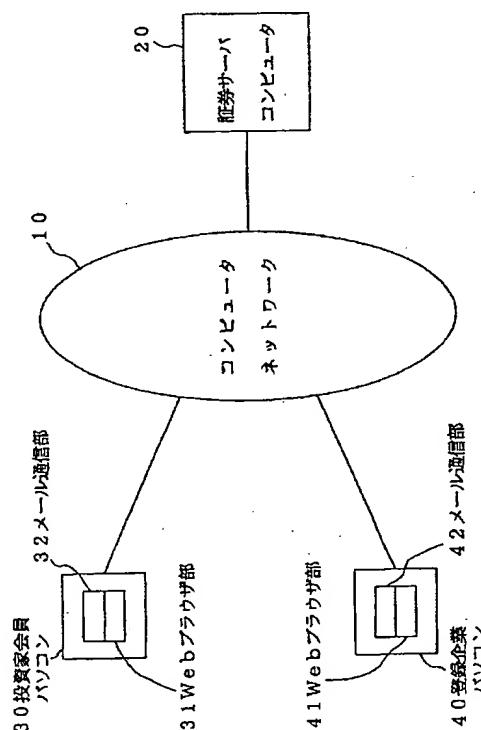
(74)代理人 弁理士 野村 泰久

## (54)【発明の名称】 投資マートシステム

## (57)【要約】

【課題】 インターネットを利用した未公開株を取り引きするためのシステムを提供する。

【解決手段】 コンピュータネットワーク10に証券サーバコンピュータ20が接続されており、投資家会員パソコン30、登録企業パソコン40から接続できるようになされている。証券サーバコンピュータ20には、会員制のホームページが設けられており、会員投資家は、登録企業の企業情報、財務情報、第3者による審査情報を閲覧することができる。また、各会員投資家は、登録企業に対して公開質問を電子メールで送信することができ、それに対する回答も前記ホームページにおいて閲覧することができる。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 コンピュータネットワークに接続されたサーバコンピュータを有する投資マートシステムであつて、

前記サーバコンピュータは、

前記ネットワークを介して受信した投資家会員からの要求に応じて、登録企業に関する企業情報を提示する機能と、

投資家会員からの登録企業に対する公開質問を受信し、該受信した公開質問を当該登録企業に転送する機能と、前記登録企業からの前記公開質問に対する回答を受信し、該受信した回答を全ての投資家会員に提示する機能とを有していることを特徴とする投資マートシステム。

【請求項2】 前記サーバコンピュータは、さらに、前記登録企業の株価に関する情報を投資家会員に提示する機能を有していることを特徴とする前記請求項1記載の投資マートシステム。

【請求項3】 ネットワークを介して受信した投資家会員からの要求に応じて、登録企業についての企業情報を提示する機能と、

投資家会員からの登録企業に対する公開質問を受信し、該受信した公開質問を当該登録企業に転送する機能と、前記登録企業から前記公開質問に対する回答を受信し、

該受信した回答を全ての投資家会員に提示する機能とをコンピュータに実行させるプログラムを記録した記録媒体。

【請求項4】 コンピュータネットワークを利用した投資マートシステムであつて、

Webサーバコンピュータに予め登録された会員のみがアクセスすることができる会員制のホームページが設定され、

該ホームページには、予め登録された登録企業毎に少なくとも当該企業に関する企業情報および当該企業に関する財務内容を表示するディスクロージャーボードページへのリンクが設定されており、

前記ディスクロージャーボードページには、当該企業への公開質問メールを送出するためのメールフォームページへのリンクおよび当該企業からの前記公開質問メールに対する回答を表示する公開質問回答書ページへのリンクが設定されていることを特徴とする投資マートシステム。

【請求項5】 前記ホームページには、さらに、登録企業の株価情報を表示するマーケットボードデータへのリンクが設定されていることを特徴とする前記請求項4記載の投資マートシステム。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、インターネット等のコンピュータネットワークを利用して未公開株等の株式の取引を支援する投資マートシステムに関する。

## 【0002】

【従来の技術】 株式は、企業にとっては資金の調達手段であり、出資者にとっては投資の手段である。現在、証券取引所や店頭市場が株式の流通の場となっているが、証券取引所に上場したり店頭公開をすることができるのには、一定の基準を満たした企業に限られる。

【0003】 ところが、創業間もないベンチャー企業や小規模企業等にとっては、上記基準を満たすことは不可能であり、株式を公開して資金を調達することは非常に困難である。一方、投資家にとっても、ハイテクベンチャー企業への投資はハイリスクはあるものの、ハイリターンを期待することができ、魅力的なものである。

【0004】 このような事情から、近年、ハイテクベンチャー企業の成長を促すためあるいは小規模企業が株式公開のメリットを得られるようにするために、上述した基準を満たしていない企業の未公開株式についても流通の場を設けることが望まれている。

【0005】 一方、近年、WWW (World Wide Web) の普及に伴いインターネットが急速に普及している。各企業は、WWWを利用して各種情報を公開したり、あるいは、同じインターネット上のアプリケーションを利用して社内やグループ企業間における情報交換に使用している。

## 【0006】

【発明が解決しようとする課題】 一般に、株式の流通には、安全性、信用性および保証性が必要とされる。特に、リスクの大きい未公開株を対象とするときには、投資家保護の観点から、企業情報や企業の財務情報の開示が重要となる。従来の通常の証券取引システム（証券取引所や店頭市場）においては、企業情報の開示は、電話やFAXあるいは記者会見などの従来メディアに頼つて行なわれていたために、企業情報の公平な開示が必ずしも担保されていたわけではなく、場合によっては、インサイダー取引が発生してしまうという危険性も内包していた。

【0007】 そこで、本発明は、インターネットなどのコンピュータネットワークが有する情報の共有性という特性を利用し、企業情報の公平な開示を可能とした新規な投資マートを提供することを目的としている。

## 【0008】

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成するためには、本発明の投資マートシステムは、コンピュータネットワークに接続されたサーバコンピュータを有する投資マートシステムであつて、前記サーバコンピュータは、前記ネットワークを介して受信した投資家会員からの要求に応じて、登録企業に関する企業情報を提示する機能と、投資家会員からの登録企業に対する公開質問を受信し、該受信した公開質問を当該登録企業に転送する機能と、前記登録企業からの前記公開質問に対する回答を受信し、該受信した回答を全ての投資家会員に提示する機

能とを有しているものである。

【0009】また、前記サーバコンピュータは、さらに、前記登録企業の株価に関する情報を投資家会員に提示する機能を有しているものである。また、本発明の記録媒体は、ネットワークを介して受信した投資家会員からの要求に応じて、登録企業についての企業情報を提示する機能と、投資家会員からの登録企業に対する公開質問を受信し、該受信した公開質問を当該登録企業に転送する機能と、前記登録企業から前記公開質問に対する回答を受信し、該受信した回答を全ての投資家会員に提示する機能とをコンピュータに実行させるプログラムを記録した記録媒体である。

【0010】さらに、本発明の他の投資マートシステムは、コンピュータネットワークを利用した投資マートシステムであって、Webサーバコンピュータに予め登録された会員のみがアクセスすることができる会員制のホームページが設定され、該ホームページには、予め登録された登録企業毎に少なくとも当該企業に関する企業情報および当該企業に関する財務内容を表示するディスクロージャーボードページへのリンクが設定されており、前記ディスクロージャーボードページには、当該企業への公開質問メールを送出するためのメールフォームページへのリンクおよび当該企業からの前記公開質問メールに対する回答を表示する公開質問回答書ページへのリンクが設定されているものである。また、前記ホームページには、さらに、登録企業の株価情報を表示するマーケットボードデータへのリンクが設定されているものである。

【0011】本発明の投資マートシステムにおいては、企業情報はディスクロージャ制御部により統括して管理されるディスクロージャ（情報公開）ボードデータによってのみ開示できるように限定されており、最新のディスクロージャボードデータはWWWのホームページとして限定された投資家会員に同時的に開示される。これとともに、投資家会員はメールシステムを介して登録企業に対して隨時公開質問メールを提出することが可能であり、それに対する登録企業による回答書は、前記ディスクロージャボードデータ上の企業情報の一部としてタイムリーに公開される。言い換れば、投資家会員はインターネットというコンピュータネットワークを介して、即時性と公平性の高いIR（Investor Relations）を形成することができる。

【0012】投資家会員と登録企業は一定の規約（投資家会員規約、登録企業規約）によって拘束された会員制とされており、クローズしているため、安全性、公平性が高く、しかも、即時性にすぐれた証券取引システムを形成することができる。

### 【0013】

【発明の実施の形態】図1は、本発明の投資マートシステムの全体的なシステム構成を示す図である。この図に

おいて、10はインターネットなどのコンピュータネットワークである。20はホームページの公開および証券取引を行なうための証券サーバコンピュータであり、例えばワークステーションなどにより構成されている。この証券サーバコンピュータ30は専用線を介して前記コンピュータネットワーク10に接続されており、隨時アクセスすることが可能とされている。30は投資家会員用のコンピュータ、40は登録企業用コンピュータであり、これらのコンピュータとしては、例えば一般的なパソコン用コンピュータが用いられ、前記コンピュータネットワーク10に専用線あるいはダイヤルアップ接続により接続される。それぞれのパソコン30、40は、前記証券サーバコンピュータ20に接続するために、ホームページを見るためのWebブラウザ部31、41、および、メールの通信を行なうためのメール通信部32、42が設けられている。ここで、前記Webブラウザ部31、41としては、Netscape Navigator (Netscape Communications社の製品名) やInternet Explorer (Microsoft社の製品名)などを使用することができ、また、メール通信部32、42としては、一般的なメール通信ソフトウェアを使用することができる。

【0014】このように構成されたシステムにおいて、前記証券サーバコンピュータ30は、前記ネットワーク10を介してアクセスする会員に対して、ベンチャー投資マートデータと呼ばれるホームページを表示するようになされている。図9は、このベンチャー投資マートデータのHTML (HyperText Markup Language) ソースファイルの一例を示す図であり、図10は会員のパソコン30あるいは40において、前記Webブラウザ31あるいは41により表示された前記ベンチャー投資マートのホームページの一例を示す図である。

【0015】図10に示すように、このベンチャー投資マート画面には、後述するマーケットボードデータへのリンクが設定されたボタン101、後述するディスクロージャーボードにおける各登録企業の一覧リストおよび各登録企業のディスクロージャーボードデータへのリンクが設定されたボタン102および各登録予定企業の一覧リストおよび各登録予定企業のディスクロージャーボードデータへのリンクが設定されたボタン103が設けられている。各投資家会員は、前記ボタン101をマウス等によりクリックすることによりマーケットボードデータの画面を表示させることができる。また、前記登録企業の一覧リスト中の所望の登録企業に対応するボタン102をクリックすることにより、当該登録企業のディスクロージャーボード画面を表示させることができ、ボタン103のいずれかをクリックすることにより、当該登録予定企業のディスクロージャーボードデータにアクセスすることができる。

【0016】図11は、前記登録企業のディスクロージャーボードデータのHTMLソースファイルの一例を示す

す図であり、図12および図13は図11に示したディスクロージャーボードデータの画面表示例を示す図である。図12に示すように、ディスクロージャーボードデータは各登録企業毎に設けられており、その中には、当該企業の名称、住所等、株式募集情報、企業情報、損益計算書、資金計画等の当該企業に関する情報が記載されている。本発明の投資マートシステムにおいては、各登録企業にこのような情報を表示させることにより、一定の情報公開の義務を負わせている。

【0017】また、図13に示すように、前記ディスクロージャーボードには、第3者からなる審査委員会により作成されたリスク情報が表示されている。図示するように、このリスク情報は、経営方針の特異性、財政状態・経営成績に重要な変動を及ぼす事項、取引の継続性・安定性、事業の将来性等投資にあたって考慮すべき事項に対する第3者による評価が記載されている。これにより、投資家は、自己の判断および責任のもとに投資をするか否かを判断することが可能となる。

【0018】また、このディスクロージャーボードには、当該企業の株式購入を申し込むための株式申込手続フォームへ移動するためのボタン104、当該企業への公開質問メールを送信するための公開質問メールフォームへ移動するためのボタン105および当該企業からの公開質問に対する回答書が記載されている公開質問回答書ページへ移動するためのボタン106が設けられている(図11のB1～B3および図12)。

【0019】図14は前記株式申込手続フォームのHTMLソースファイルの一例であり、図15はそのWebブラウザにおける表示画面例である。図15に示すように、各会員投資家は、このフォームを利用して、会員ID、会員氏名および申込株数等の必要事項を入力し、送信ボタンをクリックすることにより、当該株式の購入申込をすることができる。この株式の購入申込は、前記証券サーバコンピュータ20に送信され、証券会社に通知されることとなる。

【0020】図16は前記公開質問メールフォームのHTMLソースファイルの一例であり、図17はそのWebブラウザにおける表示画面である。図17に示すように、各会員投資家はこの画面上において、会員ID、会員氏名および公開質問内容を入力し、送信ボタンをクリックすることにより、当該企業に対する公開質問を電子メールにより送信することができる。後述するように、この公開質問は前記証券サーバコンピュータ20において受信され、当該登録企業に転送されることとなる。これにより、各投資家は当該企業に対して質問があるときには、即時に質問を送信することができる。

【0021】図18は前記公開質問回答書ページのHTMLソースファイルの一例であり、図19はそのWebブラウザによる表示画面である。図19に示すように、この公開質問回答書ページには、前記図17に示す公開

質問ページ等により提出された公開質問とそれに対する当該企業からの回答が表示されている。これにより、各会員投資家は、当該企業に対して提出されたすべての公開質問と回答を知ることができる。

【0022】以上説明したように、本発明の投資マートシステムにおいては、予め登録された投資家会員および登録企業のみがアクセス可能とされている前記ディスクロージャーボードデータ、公開質問メールフォームおよび公開質問回答書ページを利用することにより、公平かつ即時の企業情報の開示が保証されている。また、企業情報の機密性も担保されている。

【0023】次に、図20は前記マーケットボードデータのHTMLソースファイルの一例を示す図であり、図21はそのWebブラウザによる表示画面の一例を示す図である。図21に示すように、マーケットボードデータには、各登録企業の取引価格や気配値等の株価情報が表示されている。各投資家会員は前記ベンチャー投資マート画面(図10)において、ボタン101をクリックすることにより、いつでも、このマーケットデータを見ることができる。

【0024】さて、以上のような処理を行うための前記証券サーバコンピュータ20について詳細に説明する。図2は、前記証券サーバコンピュータ20の概略構成を示す図であり、201はパケットの分解組立を行なうパケット分解／組立部、202はWebサーバ部、203はメール配信エージェント部である。ここで、前記パケット分解組立部201は例えばUNIXオペレーティングシステムのカーネルサービスで提供されるTCP/IPデーモンプログラムにより実現され、前記Webサーバ部202は、例えば、NCSA httpd (NCSA:National Center for Supercomputing Applications)、Apache httpd、Netscape First Track ServerなどのWebサーバプログラムにより実現され、前記メール配信エージェント部203は例えばSendmailなどのメール配信エージェントプログラムなどにより実現される。

【0025】また、204は前記Webサーバ部202に接続された認証データ格納部であり、前記Webサーバプログラムのシステムディレクトリの配下に認証ファイルとして登録されている。図8は、この認証データ格納部204に格納されているデータの一例を示す図であり、この図に示すように、各登録企業および投資家会員毎にそのIDおよびパスワードを記憶している。

【0026】通常、Webサーバプログラムは特定のディレクトリ内のデータに対するWebブラウザ側からのアクセス要求があったときに、そのWebブラウザ側に対してIDとパスワードを要求するように動作することができるようになされている。本発明の投資マートシステムはこの機能を用いており、後述するベンチャー投資マートデータ格納部207、ディスクロージャーボードデータ格納部208、マーケットデータ格納部209内

の各データに対するアクセス要求があったときには、パソコン側のWebブラウザに対して、IDとパスワードの入力を要求するポップアップウインドウを表示するよう要求する。これにより、予め登録され前記認証データ格納部204にそのIDおよびパスワードが格納されている会員のみがアクセスを許可されるようになされている。

【0027】さて、206は管理者メールボックスであり、図示しないハードディスク装置内の所定のメールスプールディレクトリ内に投資家会員や登録企業などのユーザ毎にスプールファイルとして確保されている。そして、当該ユーザや他のユーザから送られてきた電子メールがそのメールボックス内のスプールファイルに保存されるようになされている。

【0028】207はベンチャー投資マートデータ格納部であり、前記図9に示したベンチャー投資マートデータのHTML文書ファイルが格納されている。また、208はディスクロージャーボードデータ格納部であり、前記図11に示したディスクロージャーボードデータのHTML文書ファイルが格納されている。さらに、209はマーケットボードデータ格納部であり、前記図20に示したマーケットボードデータのHTML文書ファイルが格納されている。これら各データ格納部207～209は、いずれも、前記Webサーバ部202からアクセス可能なディレクトリであり、図示しないハードディスク装置内に領域が確保されている。

【0029】なお、上述のようにこの実施の形態においては、前記ディスクロージャーボードデータおよびマーケットボードデータが独立したHTML文書ファイルとして格納されているが、登録企業や会員投資家等の数が多くなり、レコード数が多くなってきたときには、このようなデータの保持方法は非現実的なものとなり、これらのデータの更新管理は非常に大変になる。したがって、このような場合には、これらのデータを専用のデータベースシステム、例えばSQLデータベースシステムに格納して、パソコンから要求があった場合に、Webサーバ部202からCGI(Common Gateway Interface)プログラムを経由してこのデータベースシステムに接続して、所望のレコードの最新データを得られるようになることが望ましい。

【0030】また、210はディスクロージャー制御部、211はマーケットボード制御部である。これらは前記証券サーバコンピュータ20上で実行されるプログラムとして構成されており、これらの動作の詳細については後述する。

【0031】図3は、前記Webサーバ部202の動作フローチャートである。このWebサーバ部202は、前記パソコン30あるいは40のWebブラウザ部31あるいは41からの要求が来るとそれを処理して必要なデータを送出する処理を行なう。Webブラウザ部とW

ebサーバ部の間の通信はHTTP(HyperText Transfer Protocol:ハイパーテキストトランスファー・プロトコル)手順にしたがって行なわれる。

【0032】なお、本発明においては通信されるデータが証券取引データであり、非常に秘匿性の高いデータが含まれているため、暗号化して通信することが望ましい。その場合には、RSA公開鍵暗号方式を使用したSSL(Secure Socket Layer)(Netscape Communications社)などの通信方式を使用することができる。

10 【0033】さて、前記パソコン側のWebブラウザにおいて、この投資マートデータのURL(Uniform Resource Locator)を指定することによって、その要求データがWebサーバ部202に届く。したがって、まず、ステップS301において、パソコンから要求されたデータのURLに基づき、その要求が投資マート関連データ(投資マートデータ、ディスクロージャーボードデータあるいはマーケットボードデータ)に対する要求であるか否かを判断する。この判断結果がNOのときは、ステップS302に進み、その他の処理、例えば、一般用のホームページデータの送出などを行ない、再びステップS301に戻り、投資マート関連データに関する要求が届くのを待つ。

【0034】投資マート関連データへのアクセスがあったときは、ステップS301の判定結果がYESとなり、Webサーバ部202は当該Webブラウザに対し、認証要求データを送出する(S303)。これにより、当該Webブラウザの画面上には、IDおよびパスワードを入力するための入力テキストボックスのポップアップウインドウが表示される。投資マート関連データ30へのアクセスを要求した投資家会員あるいは登録企業は、この入力ウインドウに対し当該IDおよびパスワードを入力し、送信する。

【0035】Webサーバ部202は、パソコン側からIDおよびパスワードを含む認証データが受信されるのを待ち(ステップS304, S305)、所定時間経過してもIDおよびパスワードが受信できないときには再び前記ステップS301に戻る。また、IDおよびパスワードが受信されたときには、ステップS306に進み、受信したIDおよびパスワードが予め登録されているものであるか否かを前記認証データ格納部204に格納されている認証データ(図8)を参照することにより判定する。この判定の結果、正しいIDおよびパスワードである場合には、ステップS309に進み、要求された投資マート関連データを送出し、ステップS301に戻る。一方、正しいものではなかったときには、ステップS308に進み、認証に失敗した旨のメッセージを送出して、前記ステップS301に戻る。

【0036】図4は、前記ディスクロージャー制御部210の動作を示すフローチャートである。このディスクロージャー制御部210は、例えば、証券サーバコンピ

ュータ20上のウインドウシステム、例えばXウインドウ(X Window System(Massachusetts Institute of Technologyの登録商標))、のクライアントプログラムとして実現されており、GUI(Graphical User Interface)形式で前記ベンチャー投資マートデータ、前記ディスクロージャーボードデータおよび前記管理者メールボックスについての各種管理を行なうことができるようになされている。

【0037】ディスクロージャーボードデータの編集要求が発生したか否かを判定する。例えば、操作者によって画面上のボタンが操作され、ディスクロージャーボードデータを編集するための要求が入力されたときは、この判定結果がYESとなり、ステップS405のボードデータ編集処理を実行し、ステップS401に戻る。このボードデータ編集処理S405の詳細については後述する。

【0038】また、ステップS401の判定結果がNOのときは、ステップS402に進み、前記管理者メールボックス206にメールが受信されたか否かが判定される。これは、前記管理者メールボックス206の各ユーザ毎のスプールファイルのサイズにより判定でき、この判定の結果がYESのときはステップS406に進み、後述するメール受信処理を実行して前記ステップS401に戻る。

【0039】前記ステップS402の判定結果がNOのときは、ステップS403に進み、メール送信要求が発生したか否かが判定される。例えば登録企業に対して公開質問メールを転送するときなどに操作者によりメール送信要求が出される。前記ステップS402の判定結果がYESのときはステップS407に進み、後述するメール送信処理を実行した後、前記ステップS410に戻る。

【0040】一方、前記ステップS403の判定結果がNOのときはステップS404に進み、認証データ編集要求が発生したか否かを判定する。これは、投資家会員や登録企業についての変更があり、操作者により認証データ格納部内の認証データファイルの変更要求があったときなどに発生し、この判定結果がYESのときはステップS408に進み、認証データ編集処理を実行した後、前記ステップS401に戻る。

【0041】また、前記ステップS404の判定結果がNOのときは、そのまま前記ステップS401に戻る。このように、このディスクロージャーボードデータ編集要求および認証データ編集要求、メールの受信、メール送信要求の発生という操作イベントが発生したときに、対応する処理を実行するようになされている。

【0042】図5は、前記ボードデータ編集処理S405の動作を説明するためのフローチャートである。な

お、前記認証データ編集処理S408における動作もこの図5と全く同様のフローで実行される。さらに、後述する前記マーケットボード制御部211の動作もこの図5のフローチャートにより実行される。この処理においては、編集要求の内容が、既にあるデータの変更、新規データの作成、既にあるデータの削除のいずれであるかに応じてそれぞれ対応する処理が行われ、編集内容の判定をステップS501、S502およびS503において行っている。

【0043】まず、編集要求が既にあるレコードの変更を要求するものであるときには、ステップS501の判定結果がYESとなる。例えば、登録企業の事業内容の説明の変更を行うものとする。この場合には、前記図10に示したベンチャー投資マートデータ中の登録企業の一覧リストおよび前記図12に示したディスクロージャーボードデータの両者が編集の対象となる。したがって、ステップS504において、編集対象データすなわちベンチャー投資マートデータおよびディスクロージャーボードデータが読み込まれる。これらの文書はHTML文書ファイルであるので編集がしにくいため、操作者に分かりやすくかつGUI形式で編集しやすいように、ステップS505で編集フォームに変換して表示する。

【0044】次に、ステップS506において、前記編集フォームに対する書換え、削除等のイベントの発生を待つ。そして、イベントが発生したときには、ステップS507に進み、発生したイベントが終了イベント(例えば終了ボタンの押下)であるか否かを判定する。発生したイベントが終了イベント以外のイベントであるときには、再びステップS505に戻り、また、終了イベントのときはステップS508に進み、編集対象データ(ベンチャー投資マートデータあるいはディスクロージャーボードデータ)を書き換えて、このボードデータ編集処理から抜けて、前記ステップS401に戻る。

【0045】また、前記編集要求が新規作成であるときには、ステップS502の判定結果がYESとなる。この場合には、編集対象データがないので、ステップS509において、新規作成用のフォームを表示する。そして、前述の場合と同様に操作者によるなんらかのイベントの発生を待ち、イベントが発生したときには、そのイベントが終了イベントであるか否かをステップS511で判定する。この判定の結果、終了イベントではないときには前記ステップS509に戻り、編集を続行する。

また、終了イベントのときはステップS512に進み、作成した新規データを前記ベンチャー投資マートデータ格納部207、ディスクロージャーボードデータ格納部208に格納してこのボードデータ編集処理を抜ける。

【0046】さらに、前記編集要求が削除要求であるときには、ステップS503に進み、削除対象データ、すなわち、前記ベンチャー投資マートデータの一覧リスト中の対象となる部分(図9におけるA1、A2、A3あ

るいはA4で示した部分)および対象となるディスクロージャーボードデータを削除して今回のボードデータ編集処理を抜ける。

【0047】図6は、前記メール受信処理(S406)の動作を示すフローチャートである。本発明においては、電子メールが送られてくるときに2通りの方法がある。一つは前記パソコン30および40からメール通信ソフトウェアにより直接送られてくる通常の電子メールであり、他の一つは前記図12に示すディスクロージャーボードデータのホームページにおいて「公開質問メール」のリンクをクリックして表示される公開質問メールフォーム(図17)を用いて送信されるブラウザフォームからの電子メールである。

【0048】公開質問メールを送ろうとする投資家会員は、図17に示す公開質問メールフォーム中に所定の事項を記入して、送信ボタンを押す。これにより、そのパソコン30上のメール通信部32が起動され、該メール通信部32から図16に示すHTMLソースファイル中のC1で示すメールアドレスに対して、メールフォーム中の入力内容を有するデータがmailtoフォーマットで送信される。このmailtoフォーマットは、ID=値&name=値&kigyou#no=値&kigyou#name=値&comment=値というフォーマットであり、このような内容のメール本文を有する電子メール(公開質問メール)が前記証券サーバコンピュータ20に送られる。

【0049】さて、このような公開質問メールは当該登録企業に転送され、公開質問を受け取った登録企業はそれに対する回答書を電子メールで送付する。この場合には、図1の登録企業パソコン40のメール通信部41から通常の電子メールの形で送られてくる。

【0050】このようにして、前記証券サーバコンピュータ20中のメール配信エージェント部203に送られてくる電子メールは、前記管理者メールボックス206中の当該アカウントのメールボックスに格納される。前述したように公開質問メールのフォーマットは特殊なフォーマットをしているためにそのままでは読むことができない。したがって、ステップS601において、メール本文のフォーマットを判定して、公開質問メールであるか通常の電子メールであるかを判定する。その結果、公開質問メールであると判定されたときは、ステップS602においてメール解析処理を行って、それぞれの値を取り出して、ステップS603のメール内容の表示を行う。一方、通常の電子メールの場合にはメール解析処理S602を行うことなく直接にステップS603に進み、メール内容の表示が行われる。そして、操作者による終了イベントを待ち(S604)、このメール受信処理406を終了する。なお、前記株式申込手続フォームを利用した株式申込は、前記公開質問メールと同様にして受信される。

【0051】図7は、前記メール送信処理(S407)

の動作フローチャートである。この処理は、例えば操作者によりメール送信ボタンがクリックされたときに起動される処理であり、受信した公開質問メールを当該登録企業に転送するときなどに行われる。

【0052】まず、ステップS701において、転送すべきメールの指定等を行うための送信フォームが表示される。そして、操作者がなんらかのアクションを起こすまで待つ(S702)。アクションが起こされたとき、そのイベントが送信イベントであるか否かを判定し、送信処理以外のイベントであったときは対応する処理を行い、再びステップS701に戻る。また、送信イベントであったときは、ステップS704に進んで当該メールの送信処理を行う。この送信処理は、前記メール送信部(メールクライアント)205により実行されるものであり、これにより、メール配信エージェント部203、パケット分解/組立部201を介して、当該電子メールが送信される。各登録企業は、登録企業パソコン40のメール通信部42の当該メールボックスから当該メールを受け取り、対応する回答書を作成することとなる。

【0053】前記認証データ編集処理S408は、前記図5と同一のフローチャートにより実行される。この場合は編集対象となるレコードが前記認証データ格納部204に格納されている認証ファイル(図8)となることを除き、前記図5と同一の動作フローチャートにより実行されるため、詳細な説明は省略する。

【0054】次に、前記マーケットボードデータ格納部209に格納されているマーケットボードデータおよび該マーケットボードデータを編集するマーケットボード制御部211について説明する。図21に示すように、

マーケットボードデータは、登録企業毎にその直近引価格、参考気配値、最近1週間の高値低値、最近1カ月間の高値低値などのデータを表示するものである。このデータは、前記図10のベンチャー投資マートのホームページにおいて、マーケットボードへのリンクをクリックすることにより、前記Webサーバ202に当該URL(図9の\*)が送信され、Webサーバ部202により前記図20に示すHTML文書が読み出され、当該Webブラウザに送信されて図21に示すように投資家会員パソコンの画面上に表示される。これにより、投資家会員は前記マーケットボードデータをアクセスすることにより、それぞれの登録企業の株価を確認することができ、投資家会員はタイムリーなデータを常に公平に得ることが保証される。

【0055】図21に示す内容のように、このマーケットボードデータはかなり頻繁に更新されるものであり、このマーケットボードデータを更新することが必要となる。これを行うのが前記マーケットボード制御部211である。このマーケットボードデータ制御部211の動作は、前記図5に示したフローチャートと同一であり、

対象となるデータがマーケットボードデータ(図20の

HTML文書)である点で異なっているだけであるので、詳細な説明は省略する。

【0056】なお、以上の説明においては、未公開株を対象とするものとして説明したが本発明の投資マートシステムは、これに限られることはなく、他の株式等の場合にも全く同様に適用することが可能である。

【0057】

【発明の効果】以上説明したように、本発明の投資マートシステムによれば、迅速かつ公平な情報開示を行うことができ、安全性、公平性が高い投資マートを形成することが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の投資マートシステムの全体的なシステム構成を示す図である。

【図2】証券サーバコンピュータの概略構成を示す図である。

【図3】Webサーバ部の動作フローチャートである。

【図4】ディスクロージャ制御部の動作フローチャートである。

【図5】ボードデータ編集処理の動作フローチャートである。

【図6】メール受信処理の動作フローチャートである。

【図7】メール送信処理の動作フローチャートである。

【図8】認証データ格納部204に格納されているデータの一例を示す図である。

【図9】本発明のベンチャー投資マートデータのHTMLソースファイルの一例を示す図である。

【図10】図9に示したベンチャー投資マートデータのホームページの表示画面を示す図である。

【図11】登録企業のディスクロージャーボードデータのHTMLソースファイルの一例を示す図である。

【図12】図11に示したディスクロージャーボードデータの表示画面の一部を示す図である。

【図13】図11に示したディスクロージャーボードデータの表示画面の一部を示す図である。

【図14】株式申込手続ページのHTMLソースファイルの一例を示す図である。

【図15】図14に示した株式申込手続ページの表示画面を示す図である。

【図16】公開質問ページのHTMLソースファイルの一例を示す図である。

【図17】図16に示した公開質問ページの表示画面を示す図である。

【図18】公開質問回答書ページのHTMLソースファイルの一例を示す図である。

【図19】図18に示した公開質問解答書ページの表示画面を示す図である。

【図20】マーケットボードデータのHTMLソースファイルの一例を示す図である。

【図21】図20に示したマーケットボードページの表示画面の一例を示す図である。

【符号の説明】

10 10 コンピュータネットワーク

20 20 証券サーバコンピュータ

30 30 投資家会員用パソコン

31、32 31、32 Webブラウザ部

32、42 メール通信部

40 登録企業用パソコン

201 201 パケット分解／組立部

202 202 Webサーバ部

203 203 メール配信エージェント部

204 204 認証データ格納部

205 205 メール送信部

206 206 管理者メールボックス

30 207 ベンチャー投資マートデータ格納部

208 208 ディスクロージャーボードデータ格納部

209 209 マーケットボードデータ格納部

210 210 ディスクロージャー制御部

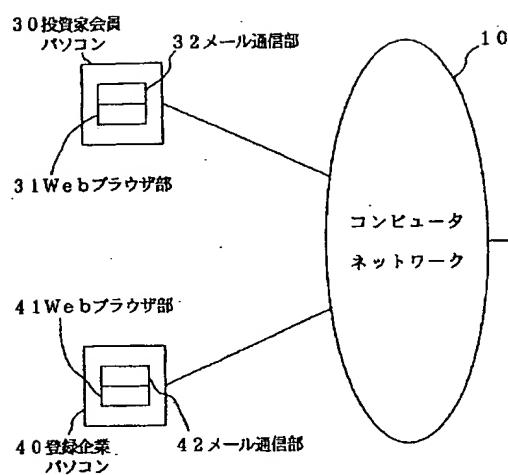
211 211 マーケットボード制御部

【図8】

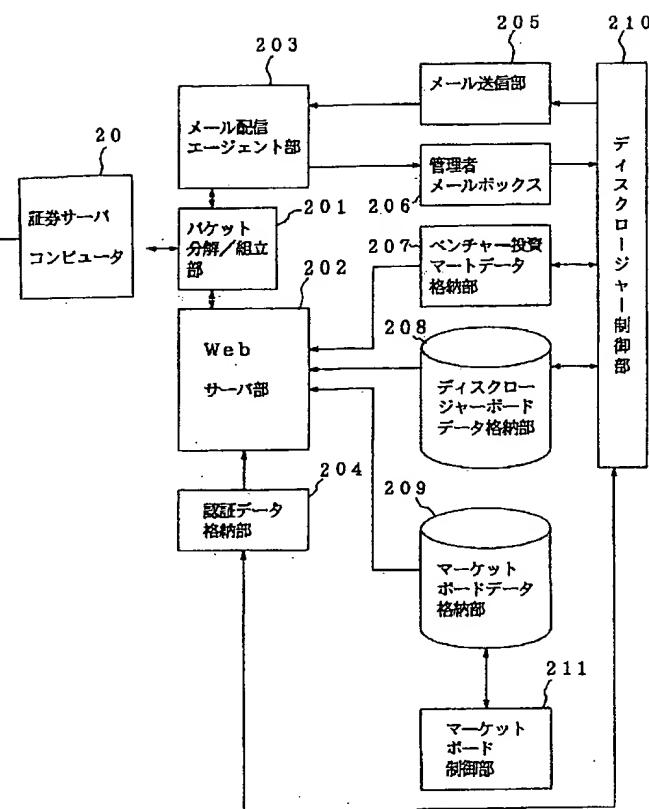
登録企業1のID : パスワード1  
登録企業2のID : パスワード2

投資家会員1のID : パスワードn  
投資家会員2のID : パスワードm

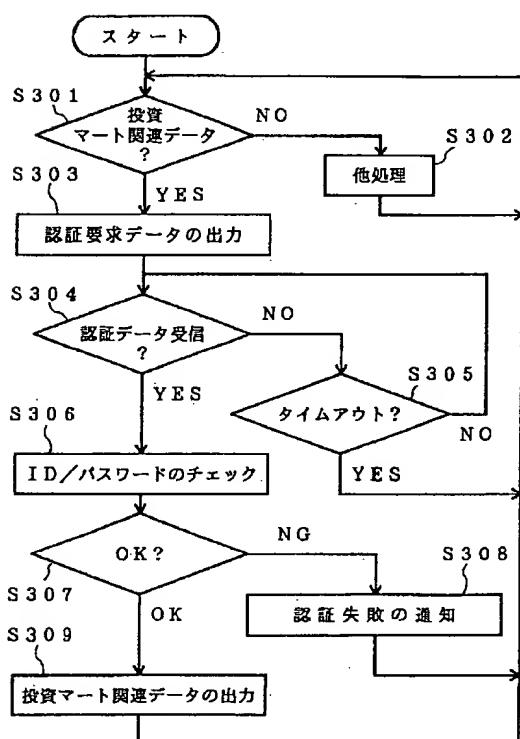
【図1】



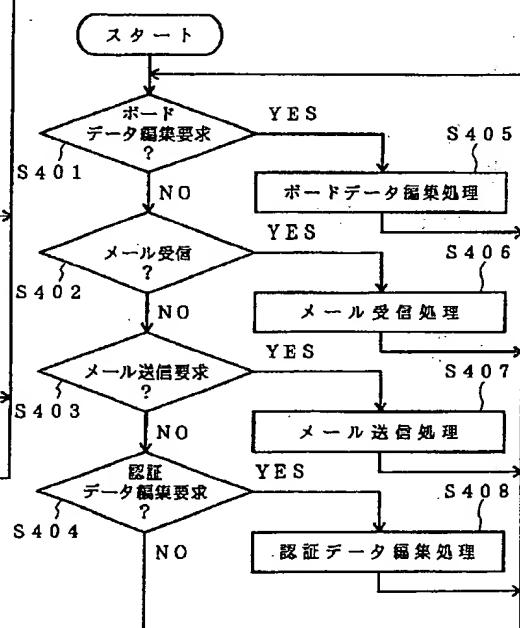
【図2】



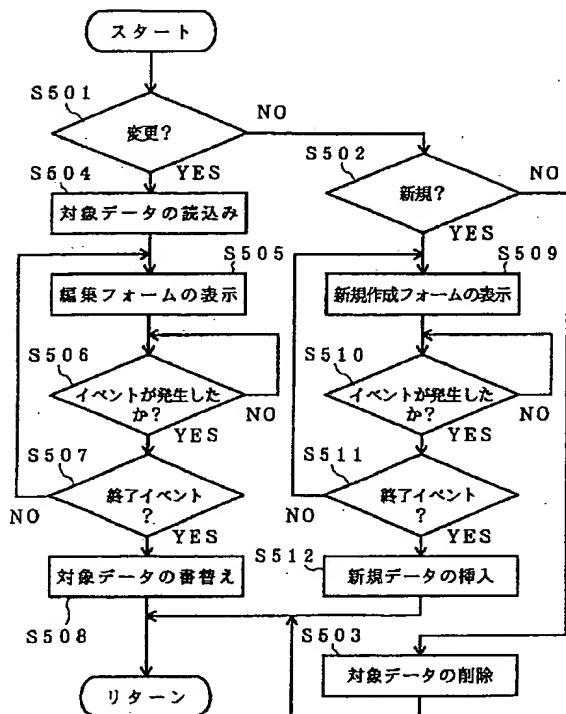
【図3】



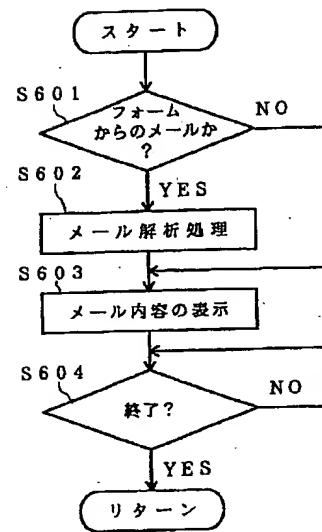
【図4】



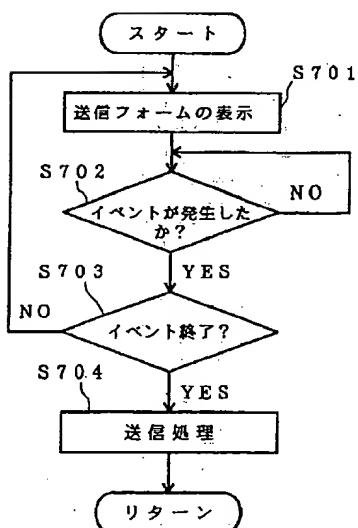
[図5]



【図6】



[图 7]



【図9】

```

<HTML><HEAD><TITLE>投資家会員向け公開情報</TITLE></HEAD>

<center>
<center><h2>ベンチャー投資マーク</h2>更新日 97/5/27<center><p>

<HR SIZE=3 WIDTH=70% ALIGN=center><p>
<table border=5 cellpadding=5 width=70%><tr>
<td align=center><a href="mb.html">マーケットボード</a></td> ←————＊
</tr></table><br>

<HR SIZE=3 WIDTH=70% ALIGN=center><p>
<center><h2>新着情報</h2></center>
<table>
<tr><td>* <a href="jigyou1.html"> 登録企業 No.1</a>の公開質問メールの回答書を
登録しました！</td></tr>
<tr><td>* 平成9年6月20日（金） 第3回事業計画説明会開催</td></tr></table><p>

<HR SIZE=3 WIDTH=70% ALIGN=center><p>
<center><h2>ディスクロージャーボード</h2></center>
<center><table border=5 cellpadding=5 width=85%>
<tr><th>登録企業</th><th>事業内容</th><th>登録日</th></tr>

<tr><td width=150><a href="jigyou1.html">登録企業 NO.000001</a></td> ←———— A 1
<td>インターネット対応ソフトの開発・販売</td><td>登録済</td>
</tr>
<tr>
<td width=150><a href="jigyou2.html">登録企業 NO.000002</a></td> ←———— A 2
<td>食品ラベルシステムの開発・販売</td>
<td>登録済</td>
<td>登録済</td>
<td>登録済</td>
</tr>
<tr>
<td>登録予定企業</td><td>事業内容</td><td>登録予定日</td></tr>
<tr><td><a href="jigyou3.html">登録企業 NO.001000</a></td> ←———— A 3
<td>中古パソコン販売事業</td><td>審査の結果、登録留保</td></tr>
<tr><td><a href="jigyou4.html">登録企業 NO.001001</a></td> ←———— A 4
<td>住宅コンサルティング</td><td>登録審査中</td></tr>
<td>登録済</td>
<td>登録済</td>
<td>登録済</td>
<td>登録済</td>
</tr>
</table></center><br><br><p>

</center>
<HR SIZE=3 WIDTH=70% ALIGN=center>
</body></html>

```

【図10】

## ベンチャー投資マート

更新日 97/5/27

マーケットボード

～101

## 新着情報

- \* 登録企業No.1の公開質問メールの回答書を登録しました！
- \* 平成9年6月20日（金） 第3回事業計画説明会開催

## ディスクロージャーボード

登録企業	事業内容	登録日
登録企業No. 000001	インターネット対応ソフトの開発・販売	登録済
登録企業No. 000002	食品ラベルシステムの開発・販売	登録済
...	...	...

102

登録予定企業	事業内容	登録予定日
登録企業No. 001000	中古パソコン販売事業	審査の結果、登録保留
登録企業No. 001001	住宅コンサルティング	登録審査中
...	...	...

103

【図21】

## ベンチャー投資マート マーケットボード

登録 銘柄	直近取引価格	参考気配		最近一週間の価格		最近一ヶ月の価格		平成9年5月1日現在	
		売	買	高	低	高	低	高	低
A	56,000(96.4.30)	60,000	58,000	70,000	50,000	80,000	45,000		
B	70,000(96.4.30)	68,000	67,000	75,000	69,000	73,000	65,000		
C	50,000(96.4.30)	52,000	49,000	55,000	48,000	53,000	46,000		

## 【図11】

```

<HTML><HEAD><TITLE>投資家会員向け公開情報 No1</TITLE></HEAD>
<center>
<center><font size=+1><b>株式会社A技研</b></font> (平成9年4月15日設立)
<font size=+1><b>投資家会員向け公開情報</b></font> <p>
<a href="jigyou1_kaitou.html"><h2>A技研 公開質問回答書</h2></a> ← B 1
<a href="jigyou1_moushikomi_tetuzuki.html"><h2>株式申込手続き</h2></a> ← B 2
<a href="jigyou1_koukaishitumon_mail.html"><h2>公開質問メール</h2></a><p> ← B 3
</center><pre>

```

登録 NO : 00001  
 企業名 : 株式会社A技研 (平成9年4月15日設立完了)  
 住所 : 東京都千代田区1-1-1  
 代表者 : 山田太郎  
 連絡先 : TEL 03-1234-5678

<募集情報>  
 募集株数 200株 (額面株式)  
 募集価格 1株あたり5万円  
 募集金額 1,000万円  
 払込期日 5月30日 (金)

<企業情報>  
 I 将来情報  
 1. 企業概況及び事業構想サマリー  
 . . . . .  
 2. 技術の特徴 (CPSシステムについて)  
 . . . . .  
 3. 事業計画  
 . . . . .  
 4. 中期利益計画  
 <損益計算書>  
 5. 資金計画  
 <資金計画表>  
 6. 利益計画・資金計画の根拠  
 . . . . .  
 7. 研究開発の状況  
 . . . . .  
 8. 株式公開の実現度  
 . . . . .  
 9. 経営者情報  
 . . . . .

<リスク情報>  
 . . . . .

```

</body></html>

```

## 【図12】

株式会社A技研 (平成9年4月15日設立) 投資家会員向け公開情報

A技研 公開質問回答書 106株式申込手続き 104公開質問メール 105

登録NO:00001

企業名:株式会社A技研 (平成9年4月15日設立完了)

住所:東京都千代田区1-1-1

代表者:山田太郎

連絡先:TEL 03-1234-5678

&lt;募集情報&gt;

募集株数	200株 (額面株式)
募集価格	1株あたり5万円
募集金額	1,000万円
払込期日	5月30日 (金)

&lt;企業情報&gt;

I 将来情報

1. 企業概況及び事業構想サマリー

2. 技術の特徴 (CPSシステムについて)

3. 事業計画

4. 中期利益計画

&lt;損益計算書&gt;

5. 資金計画

&lt;資金計画表&gt;

6. 利益計画・資金計画の根拠

7. 研究開発の状況

8. 株式公開の実現度

9. 経営者情報

【図13】

## &lt;リスク情報&gt;

当社への投資にあたって投資判断に影響を及ぼすと考えられる情報は次の通りです。

項目	内容	YES	NO
経営方針の特異性	内部留保を充実させるため当面は配当を実施しない方針である。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
	重要な営業を外部に売却することを検討している。	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
財政状態・経営成績に重要な変動を及ぼす事項	商品は国際的な市況に大きく影響され、そのため会社の業績も大きく変動する。	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
	売上の一件当たり請負金額が大きく、かつ工期が長い。	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
	特定の取引先に多額の営業債権が発生するが、債権保全の措置はとっていない。	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
	税務調査で重加算税を受けたことがある。	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
	行政指導・行政処分を受けたことがある。	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
取引の継続性・安定性	主たる取引先と納入数量・価格に関する長期契約は締結していない	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
	取引先・仕入先が限定され依存度が高い。	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
	主要仕入先の生産能力や商品供給力について今後の事業拡大にあたり不安がある。	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
	主要商品は海外市場に依存している。	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
事業の将来性	他社の市場への参入が予想される。	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
	商品・サービスの展開力が乏しく、波及効果はあまり期待できない。	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
	商品のライフサイクルが著しく短い。	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
	商品開発・経営管理その他会社の成長を支えるための人材が不足している。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
	技術契約等の関係上、販売地域・販売方法に制限がある。	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
業界特有の取引慣行	生産調整カルテルないしそれに類似する業界の申し合わせ事項がある。	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
	仕入商品について一定価格による買取保証契約等を締結している。	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
新規事業・新規商品の可能性	新規商品・サービス等が事業に貢献するのは当分先である。	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
	新規事業への投資の回収可能性によっては経営に重大な影響を及ぼす恐れがある。	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>

## 【図14】

```

<HTML><HEAD><TITLE>A技研 株式申込手続</TITLE></HEAD>
<center><h2>株式会社A技研 株式申込手続きのご案内</h2>
</center>
<ul>
<li>当会社の株式の募集にあたり、株式の取得を希望される方は、下記株式申込メールフォームに必要事項を記入の上、送信ボタンを押して下さい。
<li>お申込株数は10株(50万円)単位です。10株未満の端数のお申込は受け付けませんのでご注意下さい。
<li>また、具体的な株数について未定のままお申込いただくこともできます。後日、別途出資いただく株数の調整をさせていただきます。
<li>お申込みいただいた会員の方に対しましては、改めて株式募集説明会を開催いたします。説明会は申込期日までに3回開催します。詳しい日時・場所につきましては追ってご連絡いたします。
<li>株式募集説明会の開催後、会員の方にご出資いただく株数が決まった後、改めて正式な「株式申込証」を発送いたします。これによって商法に定める募集設立の手続に沿って、会社を設立いたします。
</ul>

    なお、株式申込が多数の場合、申込のご希望に添えない場合もありますのでご了承下さい。
<p>
<hr size=3 width=70% align=center>
<form method="post" action="mailto:xxx@yyy.zzz">
</center>

<table>
<tr><td><h4>会員ID</h4></td><td><input size=30 name="ID"></td></tr>
<tr><td><h4>会員氏名</h4></td><td><input size=30 name="name"></td></tr>
<tr><td><h4>募集価格</h4></td><td><h4>1株5万円(額面5万円)</h4></td></tr>
<tr><td><h4>申込株数</h4></td><td><input size=8 name="excelcia_moushikomi_kabushuu">株(申込株数が未定の方は「未定」とご記入ください。)</td></tr>
</table>

<textarea name="excelcia_kabushiki_moushikomi_mail" rows=8 cols=60>連絡欄
</textarea><p>

<center><input type="submit" value="送信">
<input type="reset" value="取消"><br><br>
</form>

</body></html>

```

【図15】

## 株式会社A技研 株式申込手続きのご案内

- 当会社の株式の募集にあたり、株式の取得を希望される方は、下記株式申込メールフォームに必要事項を記入の上、送信ボタンを押して下さい。
- お申込株数は10株（50万円）単位です。10株未満の端数のお申込は受け付けませんのでご注意下さい。
- また、具体的な株数について未定のままお申込いただくこともできます。後日、別途出資いただく株数の調整をさせていただきます。
- お申込みいただいた会員の方に対しましては、改めて株式募集説明会を開催いたします。説明会は申込期日までに3回開催します。詳しい日時・場所につきましては追ってご連絡いたします。
- 株式募集説明会の開催後、会員の方にご出資いただく株数が決まった後、改めて正式な「株式申込証」を発送いたします。これによって商法に定める募集設立の手続に沿って、会社を設立いたします。

なお、株式申込が多数の場合、申込のご希望に添えない場合もありますのでご了承下さい。

---

会員ID

会員氏名

募集価格 1株5万円（額面5万円）

申込株数  株（申込株数が未定の方は「未定」とご記入ください。）

連絡欄

## 【図16】

```

<HTML><HEAD><TITLE> A技研 公開質問メール</TITLE></HEAD>
<center><h2>株式会社A技研 公開質問メール</h2><p>
<FORM METHOD="POST" ACTION ="mailto:venture_koukaishitumon@d-brain.com"> ← C 1
<center><h2>公開質問メールフォーム</h2></center>
<p>A技研へのご質問をご記入ください。<br>
<font size=-1>なお、質問の内容及び回答は投資家会員向けに公開されます。<br>
</font>
<p>
<TABLE>
<TR><TD><h4>会員ID</h4></TD><TD><INPUT SIZE = 30 NAME="ID"></TD></tr>
<TR><TD><h4>会員氏名</h4></TD><TD><INPUT SIZE = 30 NAME="name"></TD></tr>
</table>

<h4>公開質問内容</h4>
<textarea name="excelcia_koukaishitumon" rows=8 cols=80>ご質問をご記入下さい。
</textarea><p>

<center>
<input type="submit" value="送信">
<input type="reset" value="取消"><br><br>
</form>

</body></html>

```

## 【図17】

## 株式会社A技研 公開質問メール

## 公開質問メールフォーム

A技研へのご質問をご記入ください。  
 なお、質問の内容及び回答は投資家会員向けに公開されます。

会員ID

会員氏名

## 公開質問内容

ご質問をご記入下さい。

## 【図18】

<HTML><HEAD><TITLE>登録企業 NO.00001 公開質問回答書</TITLE></HEAD>

<center><h2>A技研 公開質問回答書</h2></center><p>

株式会社A技研<br>  
代表取締役 山田太郎<br>

<ol>

<h4><li> (質問) </h4>

特許番号など 工業所有権の具体的な内容を知らせて下さい。<br>

<h4> (回答) </h4>

現在、A技研の保有する特許は次の2つです。<br><br>

- 1)<a href="jigyou1\_pat1.html">特公平 ppp1 特許第 qqq1 号</a><br><br>
- 2)<a href="jigyou1\_pat2.html">特公平 ppp2 特許第 qqq2 号</a><br><br><br><br>

<h4><li> (質問) </h4>

工業所有権整備費用とは 何ですか？<br><br>

<h4> (回答) </h4>

以下の特許関係の取得費用です。<br><br>

- 1) . . . <br>
- 2) . . . <br>

<h4><li> (質問) </h4>

新会社への出資は、どのように 出資されるのですか？ また、特許権や営業権は新会社にいくらで譲渡されるのですか？<br><br>

<h4> (回答) </h4>

新会社の設立時資本金は3千万円となる見込みです。出資者は、下記の通りです。<br><br>

...

</body></html>

【図19】

## A技研 公開質問回答書

株式会社A技研  
代表取締役 山田太郎

## 1. (質問)

特許番号など 工業所有権の具体的な内容を知らせて下さい。

## (回答)

現在、A技研の保有する特許は次の2つです。

1) 特公平ppp1 特許第qqq1号

2) 特公平ppp2 特許第qqq2号

## 2. (質問)

工業所有権整備費用とは 何ですか？

## (回答)

以下の特許関係の取得費用です。

1) . . .  
2) . . .

## 3. (質問)

新会社への出資は、どのように出資されるのですか？ また、特許権や営業権は新会社にいくらで譲渡されるのですか？

## (回答)

新会社の設立時資本金は3千万円となる見込みです。出資者は、下記の通りです。

・ · ·

## 【図20】

```

<HTML><HEAD><TITLE>ベンチャー投資マート マーケットボード</TITLE></HEAD>
<center>
<h2>ベンチャー投資マート マーケットボード</h2>

<table border=0>
<tr><td colspan=8 align=right>平成9年5月1日現在<td></tr>
<tr><th rowspan=2>登録銘柄</th><th rowspan=2>直近取引価格</th>
<th colspan=2 width=170>参考気配</th>
<th colspan=2 width=170>最近一週間の価格</th><th colspan=2 width=170>最近一ヶ月の価
格</th></tr>

<tr><th align=center>売</th><th align=center>買</th>
<th align=center>高</th><th align=center>低</th><th align=center>高</th><th
align=center>低</th></tr>

<tr><th>A</th><td>56,000(96.4.30)</td>
<td align=center>60,000</td><td align=center>58,000</td>
<td align=center>70,000</td><td align=center>50,000</td>
<td align=center>80,000</td><td align=center>45,000</td></tr>

<tr><th>B</th><td>70,000(96.4.30)</td>
<td align=center>68,000</td><td align=center>67,000</td>
<td align=center>75,000</td><td align=center>69,000</td>
<td align=center>73,000</td><td align=center>65,000</td></tr>

<tr><th>C</th><td>50,000(96.4.30)</td>
<td align=center>52,000</td><td align=center>49,000</td>
<td align=center>55,000</td><td align=center>48,000</td>
<td align=center>53,000</td><td align=center>46,000</td></tr>

</table><p><p>
</BODY></HTML>

```